

13 鹿児島県国際交流センター

(1) 整備の経緯

平成27年6月、京セラ株式会社創業者で同社名誉会長の稲盛和夫氏が、鹿児島における国際交流のさらなる発展のため、鹿児島県と鹿児島市に各10億円を寄付。この寄付金20億円を原資に、国際社会に貢献する人材の育成や国際相互理解の促進のための拠点施設として整備を進め、令和2年2月末に竣工、同年4月1日に供用を開始した（鹿児島市と共同管理）。

(2) 施設の概要（かごしま国際交流センター）

① 建物規模

鉄骨造8階建て

延床面積 約3,300㎡

（交流施設：約1,200㎡，居住施設：約2,000㎡，共有部分：約100㎡）

② 施設構成

かごしま国際交流センター		
名称	鹿児島市国際交流センター 【交流施設】 [1階, 2階]	鹿児島県国際交流センター 【居住施設】 [1及び2階の一部, 3階～8階]
帰属先 (指定管理者)	鹿児島市 (（公財）鹿児島市国際交流財団)	鹿児島県 (鹿児島国際交流促進センター)
内容	県民・市民と在住外国人がふれあえる施設 ・交流ラウンジ ・多目的ホール ・研修室 ・調理室 ・屋上テラス 等	外国人留学生及び研究者等を受け入れるための施設 ・居室66室 ・娯楽室 ・カウンセリング・ルーム 等

(3) 鹿児島県国際交流センター（居住施設）について

① 各居室概要

居室区分		居室数	面積	入居料	入居期間
3階	夫婦用居室	2	40.5㎡	月額49,000円	原則2年以内
	家族用居室	2	56.3㎡	月額68,000円	
	短期滞在者用居室	2	15.0㎡	日額 2,500円	原則1月以内
4階～8階	単身者用居室	60	12.5㎡	月額34,000円	原則2年以内

※入居料は、いずれも、電気、ガス、上下水道の光熱水費及びネット料金込み。

② 入居対象者

入居対象者		在留資格
留学生	大学、高等専門学校又は専修学校に通学する者	留学
研究者	大学等で研究を行う者	文化活動 短期滞在
配偶者・子	入居者と共に施設を利用する者	家族滞在
留学生、研究者の親族	三親等以内 (短期滞在者用居室での受入)	短期滞在
レジデント・アシスタント (R A)	留学生等の生活相談や日常生活上の支援・助言を行う日本人等学生	
その他知事が適当と認める者		

※レジデント・アシスタント (Resident Assistant) のレジデントは、「居住すること、住み込み」の意味。

③ 居室写真

夫婦用居室



家族用居室



単身者用居室



④ 令和4年度利用状況

入居者数 80名（外国人68名，日本人12名）

⑤ 令和4年度事業実績

ア 入居者の相互交流事業

- (ア) 入居者交流会 (6/12, 7/16)
- (イ) 新規利用者歓送迎会 (8/16, 11/6)
- (ウ) ボウリング交流会 (2/12)

イ 入居者と県民との交流事業

- 維新ふるさと館訪問 (KIEX共催) (5/8)
- 志學館大学「留学生との交流会」参加 RA3名，留学生2名 (10/20)

鹿児島大学「カオスの国際交流会」参加 留学生3名, RA1名 (10/27)
KIEX「ハーティパーティ」参加 留学生 (RAは運営ボランティアとして参加) (10/30)
山下校区青少年健全育成大会 留学生・関係者3名 (12/10)
山下校区コミュニティ総合文化祭出演 入居者1名参加 (1/29)
鹿児島中央高校 異文化交流 (鹿児島・佐賀エールプロジェクト)
職員と入居者が協力 (2/24)

ウ 利用者及び県民の人材育成・国際理解促進事業

- (ア) 入居者に対する研修事業
- (イ) 入居者による語学, 異文化理解講座
- (ウ) その他国際理解講座

エ 広報, 情報発信

- (ア) 利用者募集
- (イ) 施設見学の受入
- (ウ) マスコミへの協力

(4) 連絡先

鹿児島国際交流促進センター (県指定管理者)

〒892-0846
鹿児島市加治屋町19番18号
TEL : 099-295-6355
FAX : 099-295-6356
E-mail : info@ifc-kagoshima.upper.jp
<https://ifc.crayonsite.net/>

